2016年
11月15日号
第91号

日本統一運動
News Letter

VISION 2020
Japan Unification Movement News Letter

# VISION2020 を勝利し、73 億人類に希望を与える祝福家庭となろう！

## 「2016 秋季清平特別大役事」における真のお母様のみ言　韓国・天宙清平修錬苑

10 月 21 日から 23 日にかけて、韓国・清平の天宙清平修錬苑で「2016 秋季清平特別大役事」が行われ、世界 59 カ国からおよそ 3 万人の食口・祝福家庭が集まり、天の父母様と真の父母様の愛と祝福の中で新しい出発を決意する貴い時間となりました。今年の秋季大役事は、「天地人真の父母様特別集会」をはじめ、出発祈祷会、文善進世界会長の特別講演、万物の樹祈祷会と特別聖燭伝授、統一運動会、特別霊分立、所願成就祈祷会、1 ～ 294 代先祖解怨式と 1 ～ 287 代先祖祝福式、天運相続聖地巡礼、勝利感謝祈祷会など盛りだくさんのプログラムがありました。

22 日午前は、真のお母様を天城旺臨宮殿にお迎えして「特別集会」を開催。お母様はみ言の中で、祝福家庭の「本質」は真の父母様であると強調された上で、「すべての焦点が真の父母と一体・一念・一和でひとつになった境地のみが、皆さんが祝福をより大きく受けることのできる道であることを今回の修錬会を受ける間に大きな悟りがあるよう願います」と語られました。

特別集会におけるお母様のみ言を翻訳し、抜粋・整理して以下に紹介します。（文責・広報局）

◇　◇　◇

祝福家庭の本質は何ですか？人類歴史の中で、摂理歴史 6000 年ぶりに蕩減復帰摂理歴史を勝利で成すことができた、独り子、独り娘、真の父母様によって皆さんは祝福家庭として誕生しました。それでは皆さんの本質は何ですか？真の父母様を離れては皆さんの存在価値はありません。（真の父母様を離れたら）地上のサタン世界の人々と差がないというのです。このようにとてつもない祝福を受けた祝福家庭としての責任を果たしていますか？（はい）祝福、人類歴史 6000 年ぶりに人間世界に恨（ハン）のない、天の恩賜であり、祝福です。

このような皆さんが誕生するまで、天の父母様の苦労は言葉にすることができず、本来神様が天地創造をされ、万物世界を創造され、最後に人間を創造されました。その人間を通して神様は大きな夢を見られました。そうであるにもかかわらず小さな失敗とは言えない、人間始祖アダムとエバが責任を果たせず、責任という言葉は神様と絶対的に一つとなった場で絶対服従の心情で、神様と一体を成す位置に出て行かなければなりません。しかしそのような道に行くことの出来なかったアダムとエバは、自己を中心とした考えがあったため、堕落するしかなかったのです。今日､皆さんにおいても自己中心は許されません。すべての焦点が真の父母と一体・一念・一和でひとつになった境地のみが、皆さんが祝福をより大きく受けることのできる道であることを今回の修錬会を受ける間に大きな悟りがあるよう願います。

◇　◇　◇

キリスト教の基盤が真の父母を早く受け入れて環境圏を造成していたならば、今日全世界で起こっている宗教紛争、人種紛争、国境線の紛争等（はなかったでしょう。）しかし、真の神様の深慮を傾けて創造したこの美しい地球が荒廃化してきている今日の現実を見れば、予想できない地震だとか、津波だとか、海面が高くなるなどして、言葉にならない程の大きな被害を受けているのは事実です。そうですか？しかしこのように何も手を打たないでいては、人間の未来も地球の未来も保障されません。それでも皆さんはよく知っている方だと思います。ですから私は真の父母であるために、皆さんだけではない、73 億人類のために生命問題、環境問題を黙って見ているわけにはいかず、それを治癒することの出来る活動を始めています。しかし真の父母の基盤を見る時に、天が願われる基準には余りにも不足です。私たちがみな知っているように、2020 年までに天の父母様の体面、真の父母様の体面を立てて差し上げる、祝福家庭とならなければなりません。

きょう集まった皆さん、私が聞いた所によれば日本の食口がずっと入って来ていると聞きましたが、皆さんは幸せな人々です。皆さんは真の父母様とともに生きる、同時代に暮らしている祝福家庭として希望的です。何を怖れるのですか。躊躇せずに真の父母様が来られた、真の父母様の摂理歴史がこのように活発に展開されているということを世間に知らせなければなりません。ですから全世界的に起こっている、暗澹とした未来のみを見ている 73 億人類の前に希望を与える祝福家庭とならなければなりません。

ですから韓国語の「百聞は一見に如かず」という言葉のように、見せてあげなければならないという思いで、この孝情天苑を、私が、それほど天の父母様が願い、真の父母様が願い、祝福家庭の皆さんが願う地上天国をつくろうと思います。皆さん、一度考えてみて下さい。父母様が地上にいらっしゃる間、共に暮らしたい気持ちがあるでしょう？父母様と共に寝て、共に起き、父母様に敬礼をささげ、今日はこのような活動を通して天の父母様の環境圏がこのように広がっているということを報告したいでしょう？ですから私が未来に、苦労した皆さんのために、特に日本は 16 地区からなっていますが、私にはたくさんの土地があるのも事実です。ですからそこに皆さんが休息できる空間を作ることを許そうと思います。嬉しいですか？

私たちは希望のある幸せな祝福家庭です。過去のアダムとエバは責任を果たせなかったけれど、今日の皆さん、祝福家庭は真の父母様を中心に完全一体となった立場で責任を果たす皆さんとなるよう願います。

[制作]
世界平和統一家庭連合
広報局

# 「第 20 回全国中和文化祭」中日本大会を開催

## 個性あふれるパフォーマンスを披露

岡山教区の合唱のワンシーン

石川教区の演目の一場面

スピーチを行う高校生

チャート原理講義を行う中学生

原理講義を行う高校生

奈良教区のパフォーマンス

メッセージを贈る文妍娥様

文妍娥様を囲む参加者

各部門の上位入賞者

11 月 6 日、奈良県内のホールで「第 20 回全国中和文化祭中日本大会」が開催され、成和学生、二世教育担当者、発表者の応援に駆け付けた青年・父兄など約 1000 人が集まりました。

大会は「良心革命を起こそう！成和学生」のスローガンのもと、チャート原理講義、原理講義、スピーチ、エンターテイメントの 4 部門における中日本エリア（第 7・8・9・15・16 地区）の各地区大会で優勝した代表による発表が行われました。

今大会には、真のご家庭を代表して文妍娥（ムンヨナ）様がご来場。開会式では、昨年エンターテイメント部門優勝教区の学生代表が文妍娥様に花束を贈呈した後、田中富広副会長兼青年学生局長が主催者挨拶を行いました。

中学生によるチャート原理講義部門では、発表者 5 人が 1 人 7 分間の講義を行いました。原理講義要約訓読チャート 3 時間用のパワーポイントを使用し、絵や図・写真などを活用しながら自ら工夫して作成したスライドを挿入して、原理の内容を分かり易く伝えました。

原理講義部門では、発表者 5 人が 1 人 10 分間の講義を披露。統一原理の素晴らしさを確信を持って堂々と語る姿は、審査員および聴衆を感動させました。

スピーチ部門では、発表者 5 人が 1 人 7 分間で家庭・教会・学校などの生活圏や修錬会等の活動における成長体験を力強くスピーチしました。

エンターテイメント部門では、5 つのチームがそれぞれ 15 分間の個性あふれるパフォーマンスを披露しました。

閉会式では各部門の審査発表と表彰が行われ、文妍娥様による来賓メッセージがありました。

その中で文妍娥様は、真のお母様が二世圏を愛される姿を紹介しながら、「『日本の成和学生は立派です！大丈夫です！』と真のお母様に伝えます」と述べ、参加者を激励されました。

最後は、船越谷努・第 9 地区代表成和学生部長による億万歳四唱で大会は幕を閉じました。

### 中日本大会の結果

●チャート原理講義
優勝：第 9 地区北大阪教区代表（中 3 女子）
2 位：第 15 地区奈良教区代表（中 2 女子）
3 位：第 16 地区岡山教区代表（中 2 男子）

●原理講義
優勝：第 15 地区奈良教区代表（高 2 女子）
2 位：第 9 地区西大阪教区代表（高 1 女子）
　　第 16 地区岡山教区代表（高 2 男子）
3 位：第 8 地区北愛知教区代表（高 3 女子）

●スピーチ
優勝：第 8 地区北愛知教区代表（高 1 女子）
2 位：第 9 地区東大阪教区代表（高 2 女子）
3 位：第 16 地区岡山教区代表（高 1 女子）

●エンターテイメント部門
優勝：奈良教区
「良心革命～善なる心の花よ、咲きほこれ！～」
　　ジャンル：ライトパフォーマンス、演舞
2 位：岡山教区
「私たちの生き方～本当の幸せを世界に伝えるために～」
　　ジャンル：劇、合唱
3 位：石川教区　「ジャルジンの守護神」
　　ジャンル：劇、合唱、ダンス

## 文妍娥様を迎えて「第 9 地区特別集会」―大阪家庭教会

文妍娥様

11 月 7 日、文妍娥様を第 9 地区（関西）にお迎えし特別集会が行われました。メイン会場の大阪家庭教会には食口およそ 750 人が集結。集会の様子は地区内の 20 の教会にもネット中継され、総勢 1200 人余りが参加しました。

食口たちが繰り返し聖歌を讃美する中、妍娥様が礼拝堂にご入場。その瞬間、食口たちの多くが真の父母様と文孝進様が共に入場されたような不思議な感覚を覚え、自然に涙でお迎えする場となりました。

妍娥様はメッセージ途中、何度も涙を浮かべながら真のお母様に直接侍るなかで体験した貴重な証しを披露。食口たちは真の父母様の心情と事情、夢を深く相続する機会となりました。

メッセージで妍娥様は、天一国三大経典を訓読する中であまりにも多くのことを時が過ぎてから悟り、ご自身の「足りなさ」を謙虚に吐露した上で、訓読生活を通して真の父母様と共に生活する重要性を強調。また、夫である孝進様を霊界に送った後、妻として通過した“痛み”を率直に告白しながら、その痛みを通して、お父様の聖和以降、「中断なき前進」を決行されたお母様の歩みがどれほど偉大であり、背後にどれだけ壮絶な闘いがあったのか悟ったと語られました。

最後に妍娥様は「孝情とは、天の父母様、真の父母様に孝行を尽くす授受作用を通して湧き上がる情です。お母様が天の父母様と真のお父様の前に、絶対信仰、絶対愛、絶対服従を貫かれたように、皆さんも絶対主体を中心として、絶対信仰、絶対愛、絶対服従をすれば、必ずみ旨は成されます」と訴えられました。

約 2 時間の間、孝情が溢れるように湧き出てくる妍娥様のメッセージを受けながら、参加者は真の父母様の愛の中に包まれているような感覚の中で、VISION2020 勝利の為の 120 日路程に向けて決意を新たにしました。

特別集会の参加者

# 家庭連合時代を“真の子女”として堂々と歩もう！

## 「第 57 回 真の子女の日」「第 29 回 天宙統一国開天日」の敬礼式を挙行

説教を行う宋龍天総会長

宋龍天総会長

祝賀のケーキカット

天一国４年天暦 10 月 1 日（陽 10 月 31 日）午前 8 時から、東京・渋谷の教会本部礼拝堂で第 57 回「真の子女の日」と第 29 回「天宙統一国開天日」の敬礼式が行われ、多くの教会員が集まりました。

堀正一南東京教区長の司会で始まった式典は、主礼の宋龍天（ソンヨンチョン）・全国祝福家庭総連合会総会長ご夫妻による聖燭点火、敬拝、家庭盟誓の唱和の後、田中富広副会長が代表報告祈祷を行いました。

祝賀のケーキカットに続き、徳野英治会長が激励の辞で、全世界 100 日路程が 11 月 1 日から来年 2 月の基元節 4 周年に向けて始まることを踏まえ、お母様のみ言を紹介しながら「摂理の前に明日という言葉はありません。きょう勝利すべきことはきょう勝利しなければなりません」と訴えました。

その後、宋総会長が「観念ではなく実体的な家庭信仰をしよう」というテーマで記念説教を行いました。その一部を抜粋して紹介します。

「私たちは今、『家庭盟誓』を中心として新しく始まった世界平和統一家庭連合の時代、新しい時代に生きています。天が願われる天一国が実体的に創建されなければならない新しい時代、天宙的な転換の時代に私たちは生きているのです。

真の父母様は『私の誓い』を中心として、40 年間の統一教会時代を勝利的に飾られ、家庭連合時代を開いて下さいました。

言い換えれば、個人救援の時代である統一教会の時代を終わらせ、家庭救援時代、家庭連合時代という新しい時代を開いて下さいました。つまり、統一教会のフレーム（枠組み）を家庭連合時代のフレームとして完全に新しくして下さったのです。

家庭連合時代のフレームとは、実体的に勝利された真の父母様の完成期の路程を夫婦が、あるいは父母と子女が一つとなって歩み、実体的な家庭を建設することによって天一国の主人となり、家庭天一国を成していきなさいということです。

家庭連合の信仰は、観念的な信仰ではなく、概念的な信仰でもありません。私たちの信仰は実体的な家庭信仰です。

そういう意味において、『真の子女』という言葉は、真のご家庭の子女様だけではなく、真の父母様から重生の役事によって新しく生まれた、真の父母様と心情が通じるすべての祝福家庭のことを指すのです。

真のお母様は『日本の食口たちは私の子女である』と語られます。天の直系の子女であると確信して堂々と新しい時代を歩み、天の父母様と真の父母様に喜びをお返ししていきましょう」

敬礼式は、宋総会長による祝祷と全体祈祷の後、南東京教区渋谷家庭教会の横川洋介副教会長の億万歳四唱で終了しました。

# 神様の信頼と期待に応え、氏族代表としての使命を全うしよう！

## 徳野会長が南大阪・成和青年部、西大阪・豊中家庭教会を訪問

青年メンバーにメッセージを語る徳野会長

南大阪・成和青年部のメンバー

元気にパフォーマンスをする青年メンバー

徳野会長のメッセージを聴く豊中家庭教会の食口たち

10 月 29 日、南大阪教区の大阪青年会館に徳野英治会長ご夫妻をお迎えし、南大阪教区成和青年集会が行われ、青年メンバー約 80 人が集まりました。

はじめに青年メンバーが大阪らしい元気な歌を披露した後、日本の天一国青年宣教師が今年 5 月、韓国・天正宮博物館に招かれた際に真のお母様の前で捧げた『孝心』を歌いました。

朱鎭台（ジュジンテ）第 9 地区長の挨拶、徳野久江会長夫人のメッセージに続き、徳野会長が「青年に会いたくて関心があって、ここに来ました」と語り、大きな拍手に迎えられながら講話が始まりました。

徳野会長は、青年に対する神様と真の父母様の願いとして、①夢の重要性②信仰の確立（自立）③祝福を受ける④伝道の子女を持つ⑤国際人（リーダー）となる――の 5 つのポイントを挙げ、一つひとつを分かりやすく解説。また、特に祝福二世は原理をしっかり勉強して自分自身の動機を持つべきことや、祝福結婚に対する男女の感覚の違いについて冗談を交えながら語り、メンバーたちは最後まで熱心に聴いていました。

全体で写真撮影をした後、徳野会長ご夫妻が参加メンバー全員と握手をし、集会は幕を閉じました。

翌 30 日、西大阪教区豊中家庭教会で特別礼拝が行われ、およそ 220 人の食口・祝福家庭が集いました。

朱地区長の歓迎の挨拶に続き、姜熙満教会長が心情込めて歌をプレゼントすると、その場の空気が和んで参加者の心が一つなっていきました。

続いて、徳野夫人が登壇し、「これまでお母様に何度もお会いすることはあっても、韓国語が話せなければ、それだけでお母様との心情が遠いことを感じてきました」と説明。「お母様と韓国語で会話したい一心で、1 日に単語 1 個でも覚えようとやっていくうちに、少しずつ韓国語が理解できるようになってきました。皆さんも御父母様と会話することを目標にして韓国語の勉強を頑張って下さい」と語りました。

徳野会長は説教で、「（神氏族メシヤ活動に取り組まなければ）私を家族の代表、氏族の代表として召してくださった神様の信頼と期待を裏切ることになります。氏族伝道は、教会での位置や立場は一切関係なく、横一線です。氏族や友人知人の伝道をやるうえで、周りからの反応を恐れてはなりません。祝福家庭である以上、全員が死ぬ前までに果たしていかなければならない普遍的な宿題なのです」と訴え、参加者を鼓舞しました。

集まった食口たちも徳野会長の説教を通して改めて氏族伝道勝利を決意し、出発することができました。

# 天一国創建に向けて救国救世運動の旗手となろう！

## 全国に先駆けて第５地区で「大学生圏出征式」

出征式に集まった東京の大学生メンバー

スピーチを行う佐野忠國大学生部長

決意文を読み上げる学生代表

美しい歌声を披露した CARP 八王子学舎のメンバー

11 月２日、VISION2020 の勝利に向けて「第５地区大学生圏出征式」が東京・高田馬場の新宿家庭教会で開催され、第５地区大学生会や CARP 東京ブロックの大学生ら約 250 人が集いました。これを皮切りに全 16 地区で同様の出征式が行われる予定です。

出征式は CARP 八王子学舎の女性メンバーによる美しいコーラスの歌声で開幕。金滿辰（キムマンジン）第５地区地区長の主催者挨拶、本山勝道 World CARP JAPAN 会長と竹内啓晃青年学生局副局長の激励の辞に続いて、青年学生局の佐野忠國大学生部長がメインスピーチを行いました。

その中で佐野部長は、今夏に韓国・清平で開催された「天地人真の父母様主管 HJ 天苑特別修錬会」の閉会式で、真のお母様が二世圏に語られた「皆さんは歴史以来最高です」というみ言を紹介しながら、真の父母様の二世圏に対する期待の大きさを指摘。その上で、お母様が願われる「天への孝情、世の光へ」を具現化する戦略として、“孝情体恤”と“良心革命”において大学生圏が向かうべき方向性を説明しました。

そして最後に、大学生圏が中心となって今後推進していく３つのプランを発表しました。

一つ目は来年２月に清平で開催する計画の修錬会「College-TOPGUN-JAPAN」で、「真の父母様と私との孝情の確立」をテーマに行うこの修錬会への参加を呼び掛けました。

二つ目は来年 10 月に開催予定の「SEIWA FESTIVAL 2017」。心情文化祭典や大学生スピーチの他に、全国の大学生代表選挙を行う計画などを明らかにしました。

最後は 2020 年に真の父母様を日本にお迎えして開催する祝福式についてです。自らが純潔を守り、理想家庭を築いていくことはもちろん、周囲の友人たちにも純潔と理想家庭の文化を広げ、共に祝福式に参加することを訴えました。

メインスピーチに続いて、大学生の代表２人が「大学生圏出征決意文」を読み上げ、天一国創建に向けて救国救世運動の旗手となることを、参加した大学生全員で力強く決意しました。

出征式に参加した女子学生（大学２年）は「お母様にとって、私たちは『歴史上最高』と言われますが、自分たちが何か優れているということではありません。ただ、6000 年の歴史の中で後にも先にも来られない真の父母様と同じ時代に生き、しかも共にみ旨を果たす若者であるから、お母様は『この若者たちなら絶対に共にみ旨を成してくれる』という絶対的な確信をお持ちのなのだと思いました。無条件に信じて下さっているお母様の力になりたい、期待に応えたいという思いで、再出発していきたいと思います」と感想を述べています。

# UNITE が再始動、「日韓防衛協定」締結訴える

## 東京・新宿、渋谷駅前で街頭演説

渋谷駅前での街頭演説

新宿駅前で演説する女子学生

演説を行う小村聡士 UNITE 代表

新宿駅前での街頭演説

今年１月に活動をスタートし、国内 20 数ヵ都市・地域にまで拡大した国際勝共連合大学生遊説隊 UNITE（ユナイト）。７月の参院選後は対外的な活動を休止していましたが、10 月 16 日に国内 14 ヵ所で一斉演説を行って再始動し、11 月３日「文化の日」には UNITE と UNITE IKEBUKURO が合同で、東京・新宿、渋谷の両駅前の２ヵ所で街頭演説を行いました。

３日の演説では、学生４人がそれぞれ、昨今の北朝鮮による核・ミサイル実験や中国の軍事的な脅威など不安定な東アジア情勢に触れ、日本と韓国による「軍事情報包括保護協定（GSOMIA（ジーソミア））」締結の重要性を力説しました。

UNITE の小村聡士代表は、日本と韓国の「GSOMIA」の歴史的な意義に言及した上で、オバマ米国大統領による脱「世界の警察」宣言や、英国の実質的な欧州連合（EU）離脱などを挙げながら、「（世界の）利己的な自国中心主義の流れに『NO ！』と宣言しましょう。私たちが目指してきた世界平和への道を再び邁進しなければなりません」と訴えました。今回の弁士全員の演説映像は、動画共有サイト YouTube にアップされており、UNITE のウェブサイトなどから閲覧できます。

UNITE の活動は、テレビ東京が５月末に渋谷で行われた 230 人のデモ行進を夕方のニュースで報道したのをはじめ、熊本日日新聞、和歌山新報、大阪日日新聞、月刊誌「SAPIO」などが取材・報道を行うなど、メディアでも注目を集めています。

UNITE は年内にもさらなる“一大イベント”を計画中で、救国救世の先頭をひた走る大学生・青年のうねりが、さらに日本を席巻することが期待されます。

# 天一国青年宣教師、真の父母様のみ言を胸に
# 世界 14 カ国で活躍中
## 宣教国巡回レポート―ベナン共和国

現在、天一国青年宣教師は第４期生 64 人が世界 14 ヵ国で活躍しています。青年学生局国際宣教部の飯田智史部長はこのほど、宣教師の激励と宣教国の現状視察を兼ねて宣教国の巡回をスタート。９月 10 日から 10 月 20 日の 40 日間は西アフリカのベナン、10 月 21 日からはヨーロッパのアルバニアで宣教活動をサポートしています。今回は、西アフリカのベナンから届いたレポートの一部を紹介します。

◇　◇　◇

９月９日に成田国際空港を出発し、香港、アディスアベバ（エチオピア）を経由し､ベナン最大の都市コトヌーに到着するまで丸１日かかりました。このように天一国青年宣教師が歩む任地国は、すぐ近隣の国から、地球の裏側の国まで多岐にわたります。

ベナンには現在、第４期天一国青年宣教師５人が派遣され、たくましくやっています。現地のメンバーともうまくやっている様子です。伝道活動も熱心に行っており、現地では 1800 双の佐々木達雄・天一国特使の指導を受けながら、大学生メンバーと共に歩んでいます。

佐々木特使は、昨年の第３期天一国青年宣教師と時を同じくしてベナンに着任。それ以降、たくさんの青年・学生が伝道されてきています。

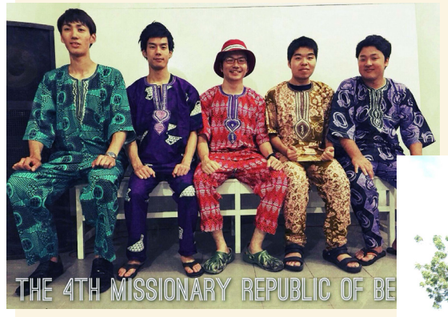
第３期宣教師は昨年、現地メンバーと力を合わせて数カ月でおよそ 180 人を伝道（7 日修練会に参加）。今年 12 月末までにそれを 400 人まで伸ばそうというのが当面の目標です。

ベナンでは、１カ月に２度のペースで７日修練会が開催され、21 日修練会も定期的に開催しています。私が滞在していた期間にも７日修練会と 21 日修練会が行われていました。

言語や参加者の雰囲気は違っても、修練会の中身自体は日本でやっているのとほぼ同じだと分かり、修練会文化は世界中に相続されていっていると感じました。

ベナンのように青年伝道が進んでいる環境で、ゲストが神の愛と真理に触れて変わっていく姿を目の当たりにする機会を数多く持つということは、とても重要です。今の二世圏に海外宣教の道があるというのは、そういう意味でも非常に意義深いことであると再認識しました。

私がベナン滞在中に伝道したゲストのうち、３人が霊の子となりました。次の巡回地アルバニアでも新たな出会いがあることを期待しています。（青年学生局国際宣教部・飯田智史）



ベナンで歩む第四期天一国青年宣教師

７日修練会の講義風景

街頭伝道の様子

霊の子と写真を撮る飯田部長

７日修練会の閉講式で

# 天一国青年宣教師の証
## ベナンを含め、現在 14 ヵ国で天一国青年宣教師が歩んでいます。任地国からの伝道の証しの一部を紹介します。

### 真の父母様を一人でも多くの人に伝えたい

■アジア フィリピン（H・K さん 20 歳）

この１週間は、バギオで行われた７日修練会に私のゲストと一緒に参加していました。７日修で特に印象に残ったのは、“再臨主”真の父母様が証されたときでした。修練生には泣き出す人、混乱する人など様々な人がいましたが、その瞬間はとても感動しました。真のお母様が「真の父母様を知らない人に“真の父母”を伝えていかなければいけない」と語られたのを思い出し、こうやって宣教師としてご父母様を証しできることは本当に幸せであり、誇らしいと感じました。「生きているうちにお父様とお会いしたかった」という修練生の感想を聞きながら、改めて真のお母様がこの地上にいらっしゃるうちに、より多くの人々に真の父母様を伝えていかなければいけないことを痛感。本当に人の心を救えるのは救世主、真の父母様しかいらっしゃらないと改めて感じています。

フィリピン教会で行われた「真の子女の日」式典の参加者

### 伝道対象者を通じて神様の愛を実感

■中華圏 台湾（Y・Y さん 21 歳）

ゲストを愛し尽くす決意で歩みました。ゲストが原理を聞いて「面白い」と言ってくれたり、目をキラキラさせている姿を見て、本当に感動しました。ゲストの中に良く寝れない人がいたので、私はセンターリーダーとゲストと手を繋いで彼女の為に祈りました。ゲストは「日本語はわからないけれど、私の事を思ってくれていることをとても感じた。ありがとう」と感想を話していました。そんな彼女を見て、神様はいつもこのような目で私たちを見つめておられるのだなと感じました。

台湾で行われた１日修練会の参加者

### 伝道を通して両親の見えない精誠を悟る

■南米 アルゼンチン（K・A さん 22 歳）

今週は２日修練会が終わってすぐにゲストに「再臨論」を聴いてもらうことができました。その時講義をしてくれたのが、私と同じドミニカ共和国と日本のハーフのエスペランサという姉妹です。その出来事を通じて、精誠というものがいついかなる時に誰に実るのかは分からないことを実感しました。天の協助を受け、今私のゲストが最後の原理講義を聴くことができているのは、私の両親が私たち子女や大きなみ旨のために日々精誠を積んできてくれたからだということを強く感じ、とても感動しました。親の見えない精誠は、子供が大きくなって自分が誰かの為に祈り歩むようになって初めて知ることのできるほど愛情深いものであると悟らされました。それと同時に、神様と真の父母様がそれ以上の心情で人類一人ひとりに愛を投入してくださっていることに心から感謝しました。

アルゼンチン教会での講義風景